

令和7年度
杉並区



NPO活動資金 助成報告書



杉並で生きていく
いろいろな波を乗り越える
その手助けの第一歩！



だいじなことには、
お金がかかる。
だから
寄附なんだ

「社会のスキマ」を埋めるNPO活動を、
寄附で応援してみませんか。



●令和8年度 杉並区NPO活動資金助成事業 概要●

■助成対象事業

🏠 スタートアップ事業

設立5年未満の団体が、活動の基盤強化のために行う事業

👤 ステップアップ事業

団体活動の発展のために行い、将来的に区や他団体との連携・協働が期待できる事業

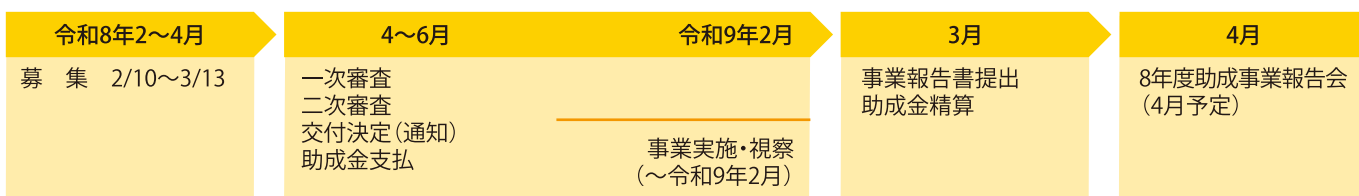
■助成額

上限30万円(1事業) 総額150万円

■審査方法

一次:書類審査 二次:プレゼンテーション

■助成の流れ



■対象団体

以下の①~⑥を満たす団体

- ①NPO法人・一般社団法人・一般財団法人・任意団体等
- ②主たる事務所を区内に有する、または区民を対象に特定非営利活動等を行う団体
- ③反社会的勢力及び反社会的勢力と密接な関係にない団体
- ④無差別大量殺人行為を行っていない団体
- ⑤本助成金の交付を2年連続で受けていない団体
- ⑥すぎなみ協働プラザに団体登録を行っている団体

■助成対象期間

交付決定日(6月上旬予定)~令和9年2月28日

※事業実施に関わる準備経費については8年4月1日以降を対象とする。

●杉並区NPO支援基金への寄附は●

杉並区NPO支援基金リーフレットに付いている**払込取扱票**を使って

郵便局からご寄附いただけます。

リーフレットは、区役所、区民事務所、すぎなみ協働プラザなどに置いてあります。

窓口でご寄附いただく場合

地域課協働推進係へお越しください。その場でご寄附いただけます。

銀行からご寄附いただく場合

地域課協働推進係<<03-3312-2381>>へお電話ください。

ゆうちょ銀行以外の金融機関からご寄附いただける納付書をお送りいたします。

インターネットからご寄附いただく場合

杉並区公式ホームページ「ふるさと納税サイト」を利用しての寄附から各ポータルサイトにアクセスしてください。



寄附には税制上の優遇があります

杉並区NPO支援基金への寄附は、「ふるさと納税」として取り扱われ、所得税・個人住民税からの控除を受けることができます。



寄附のお申し出・お問い合わせは

杉並区区民生活部地域課協働推進係

杉並区成田東4-36-13 杉並区役所分庁舎2階

☎ 03-3312-2381

FAX 03-3312-2387


令和7年度も多くの皆さまにご寄附をいただき、 ありがとうございました。

子どもの健全育成、高齢者・障害者への支援、環境・まちづくり推進など、様々な分野に、行政の支援が行き届かない「社会のスミマ」ともいえる課題が潜んでいます。その課題解決に取り組む地域のNPO活動を応援するのがNPO支援基金です。皆さまから寄せられた寄附を活用して、NPOの地域貢献活動に助成金を交付しています。

令和7年度の助成事業紹介

すぎなみ発 みんなで考える「自分ごと」としての平和

NPO法人Forum2050

【事業区分】 スタートアップ 【助成額】200,000円

✉ toda@forum2050.com

🌐 <https://forum2050.com>

令和7年8月24日、平和を「自分ごと」として捉えるためのワークショップを荻窪で開催しました。猛暑の中、小学生をはじめ、さまざまな年代の参加者約50名が集まり、進行は団体の若手メンバーが主体となって進めました。


前半はカンボジアやバングラデシュのさまざまな環境に暮らす子どもたちの動画を上映した後、ウクライナ出身のイゴール氏が平和の尊さを訴えました。後半のワークショップでは、多様な背景を持つ参加者が「平和を自分ごと化できない理由」や「行動へのヒント」を熱心に議論しました。

他者への想像力や「聴く」ことの大切さを再確認し、世代を超えて率直に意見を交わした経験は、参加者に深い印象を残しました。原水爆禁止運動の歴史を持つ杉並の地で、平和への思いを未来へ繋ぐ貴重な一歩となりました。



「てらこや」

楽学倶楽部

【事業区分】 スタートアップ 【助成額】186,000円

✉ nk168ichi@jcom.home.ne.jp

今年で3年目となる「てらこや」は、荻窪地域の小学1～4年生対象に毎月2回実施、今年度は延べ170人が参加しました。ここでは算数を主とし、各自の宿題や教材で勉強します。場所は「中道寺」様をお借りし、まさに「てらこや」です。勉強するだけでなく、あわただしい世の中となり家庭でも忘れがちな季節の行事の大切さを教えたいと考え、5月のカブト作り、7月の七夕飾り、9月の月見、11月のハロウィン等々を楽しみました。また、日本人が苦手な外国人とのコミュニケーションは児童の段階から英語に親しむ事が重要と考え、8月から“英語に親しむ”時間を設けました。様々な活動を通して子どもたち同士の交流と高齢の人との触れ合いが出来ました。子どもたちに難しいことは求めず、ゆるやかに成長を見守っていきます。



令和7年度

寄附総額 **505,827**円

寄附件数 **39**件

助成事業 **4**件

令和7年度は、NPO 4 団体に対して総額820,162円を助成しました。
平和を自分ごととして考えるためのワークショップや非常用トイレの備蓄について考える講習会などが実施され、多くの参加者を集めました。

平成14年～令和7年度の累計

●寄附額:約4,088万円

●寄附件数:871件

●助成事業:255件

レッツボウサイ！どうする？災害時のトイレ問題！

NPO法人防災コミュニティネットワーク

【事業区分】📍ステップアップ 【助成額】134,162円

☎050-3612-4429 ✉info@bosaicn.net

🌐https://bosaicn.net/

「どうする？災害時のトイレ問題」と題し、災害時の生活において“食べる”とおなじく切実な問題となり得る“出す”に焦点を当て、過去の災害の事例から、トイレ問題を深掘りした講座を開催しました。講座内での質問コーナーでは、住環境から見てきた不安や、子育て世代・介護世代など家族構成によって変わってくる課題について共有することができました。

また、普段触れることのない様々な非常用トイレを試すことで、自分や家族に合った非常用トイレの備蓄推進にも寄与できました。備蓄として持ってはいるが、もったいなくて一度も使ったことがないという方が多かった凝固剤の体験コーナーでは、「参考になりイメージが掴めた」という声をいただきました。この取組が地域住民同士で共有され、共助に繋がる姿を想像できる事業になったと感じています。



次世代グローバルリーダー育成プログラム

NPO法人みんなの進路委員会

【事業区分】📍ステップアップ 【助成額】300,000円

☎070-6551-8521 ✉info@minnanoshinro.com

🌐https://minnanoshinro.com/

夏期休暇中の3日間で開催し、杉並区内の中高生約30名が参加しました。1日目は、SDGsに関わる諸課題のうち、杉並に関わりの深いテーマ「気候変動」（天候にまつわる気象神社が高円寺にある）、「子どもの権利」（令和7年4月杉並区子どもの権利条例が施行）、「ろう（聴覚障害）」（手話言語条例制定、東京国際ろう芸術祭が座・高円寺で開催）、「アイヌ文化」（アイヌ語研究の第一人者である金田一先生が阿佐谷に居住していた）について、それぞれの若手実践者からテーマ内容について学び、またワークショップデザインの技術についても学びました。2日目は、小学生向けにそれぞれのテーマについて楽しく学べるワークショップを企画し、3日目は実際に児童館を訪問して、中高生たちが企画したワークショップを実践しました。これらの経験を通して、グローバルな視点（SDGs）とローカルな視点（杉並の地域課題）を持ち合わせた杉並の将来の担い手を育成することを目指しました。

